



水道 GLP 認定証授与式（3月29日）

水道 GLP 認定委員会で認定検査機関としての更新が決定した茨城県企業局水質管理センター（認定番号：JWWA-GLP045）の認定証授与式を日本水道協会理事長室において行った。



第9回水道用薬品及び資機材の衛生性調査専門委員会（3月8日）

水道用ポリアクリルアミドと水道用過酸化水素の2規格について審議を行った。

水道用ポリアクリルアミドの規格改正については、各委員提出の評価試験液に関する予備試験結果から、規格に記載する事項への検討を行った。さらに、規格改正案に対する意見を基に、全体構成の方向性を審議し、分析方法を含めた原案作成作業に入ることを了承した。

オゾン・過酸化水素による促進酸化処理の導入を想定した過酸化水素の新規規格案については、水道用過酸化水素に必要な品質とその評価に用いる試験方法に関して意見交換を行った。

第173回水道統計編纂専門委員会（3月9日）

はじめに、報告事項1「水道統計追加調査「表20. 都道府県別の電力二酸化炭素排出量」に使用するCO₂排出係数の変更」、報告事項2「水道統計施設・業務編検索システム、同システム集計機能及びPI算出機能画面等」、報告事項3「入力システムの動作の前提要件」について、事務局より説明があった。

続いて、議題1「平成27年度水道統計」、議題2「平成28年度水道統計調査の見直し」、議題3「水道統計の項目から導き出せるPIの修正」について上程され、審議の結果、了承された。

第712回抄録委員会（3月10日）

本誌7月号に掲載する外国文献の抄録内容について審議した。

第247回衛生常設調査委員会（3月17日）

最新の水質情報について、厚生労働省東水道水質管理官から水道法の15年ぶりの大きな改正について、3月上旬に閣議決定された旨の報告があった。また、水質基準の見直し及び、新たな検査方法の追加等の検査方法告示の改正とともに妥当性評価ガイドラインの改正について説明があった。

その後、「上水試験方法（2011年版）の改訂について」の審議が行われ、改訂の実施が承認された。また、水質試験方法等調査専門委員会並びに水道用薬品及び資機材の衛生性調査専門委員会等の状況報告が行われた。

続いて、「多摩川上流におけるかび臭産生藻類の発生」及び「摂取制限を伴う給水継続」等の水道水質に係る報告と意見交換が行われた。

第954回会誌編集委員会（3月21日）

本誌4月号の編集方針、投稿原稿の審査、新規原稿の取扱いについて審議した。

第138回事務常設調査委員会（3月23日）

はじめに、議題（1）「正・副委員長の互選について」を上程し、委員長に東京都水道局総務部長の黒沼委員、副委員長に広島市水道局次長の野口委員、福岡市水道局総務部長の曾根田委員をそれぞれ選任した。

次に、議題（2）「料金改定業務の手引きについて」を上程し、審議の結果、原案のとおり了承された。

続いて、報告事項（1）「平成28年熊本地震の課題整理について」、（2）「地震等緊急時対応特別調査委員会の検討状況について」、（3）「平成28年度スポット広報について」、（4）「エコプロ2016について」、（5）「平成26年度水道統計経年分析について」、（6）「開発負担金の徴収状況等について」、それぞれ事務局からの説明に基づき意見交換を行った。



第39回水道施設に関する規格専門委員会（3月23日）

水道配水用ポリエチレン管・継手（JWWA K 144・145）の規格改正に係わる委員会を開催した。

議題「水道配水用ポリエチレン管・継手（JWWA K 144・145）へのEF受口呼び径50の追加」について、規格本文及び解説の改正案の審議を行い、異議なく了承された。

なお、上記の規格改正案は、平成29年7月に開催予定の第186回工務常設調査委員会へ上程する予定である。

第39回認証制度運営委員会（3月23日）

吉田理事長の開会挨拶の後、議案として「品質認証事業平成29年度業務運営目標」、「認証業務規則（JWWA-H106）」及び「認証業務マニュアル（JWWA-H001）」の改正について審議し了承された。

続いて報告事項として、「試買検査の結果」、「平成28年度マネジメント・レビューの結果」、「認証制度 PR 活動」等について事務局から報告を行った。



第27回 JIS 製品認証業務運営委員会（3月24日）

はじめに、議題（1）「正副委員長の互選について」を事務局より上程し、委員長に東京都水道局の牧田建設部長、副委員長に水道バルブ工業会の若林専務理事がそれぞれ選出された。

次に議題（2）「第23・24・25・26回 JIS 製品認証業務運営委員会議事録（案）について」を事務局より説明し、了承された。

続いて「平成28年度製品認証の業務報告について」を含めた9件の報告事項について事務局より報告を行い、了承された。

第97回検査事業委員会（3月24日）

はじめに、議題（1）「第96回検査事業委員会議事録について」事務局より報告を行い、了承された。

次に議題（2）「検査施行要項等の改正について」、①水道用ダクタイル鋳鉄管検査施行要項、②水道用ダクタイル鋳鉄異形管検査施行要項、③水道用ソフトシール仕切弁検査施行要項等、計11の検査施行要項の改正について、審議を行った。

各検査施行要項の改正については、検査施行要項等専門委員会委員長の大澤大阪市水道局工務部技術監理担当課長より専門委員会の審議結果について報告を行い、慎重審議の結果、一部修正することとして、全て了承された。

その他、最近の検査実績について事務局より報告を行った。



第119回水道 GLP 認定委員会（3月27日）

水道 GLP 認定について、一般財団法人宮城県公衆衛生協会（JWWA-GLP095）、株式会社総合環境分析（JWWA-GLP096）、長崎市上下水道局事業部水質管理室（JWWA-GLP047）、山形市上下水道部水運用センター（JWWA-GLP048）が認定更新検査機関として審議され決定された。

また、水戸市水道部浄水管理事務所（JWWA-GLP072）、新潟東港地域水道用水供給企業団（JWWA-GLP073）、札幌市水道局給水部水質管理センター（JWWA-GLP022）、一般財団法人東海技術センター（JWWA-GLP023）、一般財団法人岐阜県公衆衛生検査センター（JWWA-GLP024）が認定維持検査機関として、それぞれ審議され決定された。

平成28年度第6回理事会（3月28日）

吉田理事長が議長となり、報告事項1「公益社団法人日本水道協会の会務」、報告事項2「地震等緊急時対応特別調査委員会の検討経過」について、それぞれ事務局から報告があった。

続いて、第1号議案「会員の入会」、第2号議案「公益社団法人日本水道協会平成29年度事業計画書及び収支予算書の承認」、第3号議案「平成28年度決算に係る特定資産の区分変更」、第4号議案「平成28年度決算に係るその他固定資産の区分変更」、第5号議案「公益社団法人日本水道協会第90回総会の開催及び開催通知の送付」、第6号議案「平成29年度水道イノベーション賞」についての6件が上程され、審議の結果、原案のとおり決定した。



第13回水道 GLP 運営委員会（3月28日）

日本水道協会は、平成28年度水道 GLP 運営委員会（委員長 眞柄泰基特定非営利活動法人日本オゾン協会会長）を開催し、水道 GLP の審査・認定状況等を報告した。委員会では、水道 GLP システムの運用開始から11年が経過し、131箇所が認定され、日本の水道水質検査機関の検査結果の信頼性向上に役立っていることを確認した。

今後もより一層のシステム全体の点検を行うとともに、「公平・中立・平等」の基本理念に沿って、認定機関の増加に対応すべく審査の効率化や審査技術の向上に努め、水道 GLP を更に進展させるようにとの意見が出された。

「水道維持管理指針2016」改訂説明会（札幌市：2月20日～21日、仙台市：3月7日～8日、東京第1回：2月28日～3月1日、東京第2回：3月21日～22日、名古屋市：3月2日～3日、大阪市：3月6日～7日、広島市：3月9日～10日、福岡市：2月22日～23日）

水道維持管理指針の改訂に伴い「水道維持管理指針2016」に基づき、水道事業関係の技術職員の方を対象に全国7ブロック別に説明会を開催した。

第1日目は「総論」、「安全衛生管理、災害及び事故対策」、「給水装置」、「取水・貯水及び導・送・配水」、第2日目は「浄水施設」、「水質管理」、「機械・電気・計装設備」について研修を実施した。

平成29年度全国会議（水道研究発表会）における「熊本地震部門」の設置について

この度、高松市で開催される平成29年度全国会議（水道研究発表会）では、熊本地震発災から1年が経過したことから、特別企画として「熊本地震部門」という研究発表部門を設置しました。

本部門では、熊本地震に関連した活動とともに、熊本地震から得られた経験と、それを通して検討された災害対策の取組み等を紹介した論文を募集します。皆様からの応募をお待ちしております。